



おおぞら

長井市立致芳小学校だより
令和元年11月29日
第17号

校是「和致芳」

インターネットの安心安全な 使い方について考える

<11/26開催 学校保健委員会より>

学校医、学校歯科医、学校眼科医、学校薬剤師の先生方をはじめ、長井市の教育委員会・健康課の関係者、PTA役員の皆様の参加により学校保健委員会が開催されました。(学校の職員も含め、39名による開催)

会議では、学校から健康診断や生活リズム、運動能力テストの結果と取り組みについて、母親倶楽部からアウトメディアデーⅡ等の取り組みについて報告の後、今回のテーマ「メディアとの上手な関わり方～インターネットの安心安全な使い方について考える～」について、e-ネットキャラバン講師の方より講話をしていただきました。

【今年度の合いことば】

いつでも どこでも だれにでも

「えがお」で「おはようございます!」

「えがお」で「ありがとうございます!」

あいさつから、ひびきあう仲間・学び・挑戦!

【講話の主な内容から】

○インターネットは便利な道具であるが、危険も伴う。安心して使うための正しい知識を身に付けることが大切。そのために、インターネットに潜む危険をしっかりと教える。

①ネット依存(ゲームや動画への依存)

- ・時間利用制限の設定をする。ゲームや動画が有料であることを教える。深刻な場合は専門家に相談。
- ・脳…アクセル部分は子どもの時によく発達するが、ブレーキ部分は子どもの時にはなかなか発達しない。子どもはブレーキが利かない。親や大人がブレーキをかけることが大切。

②ネットいじめ

- ・無料通信アプリやゲームのチャット等による文字だけのコミュニケーションはトラブルが起きやすい。友達であっても直接会って顔をみてコミュニケーションをとることが大切。

事案をもとにした再現動画を見せてもらいました。どの子にも起こりうると感じました。

③誘い・なりすまし

- ・年齢や性別、容姿をいつわり、子どもの名前や住所等の個人情報を聞き出して誘い出す。
- ・悪意をもってなりすまし、誘い出すので、知らない人には、絶対会いに行かない。

④個人情報漏洩

- ・のせた情報は消せない。ふざけたものをのせると、後で就職等、将来に大きく影響することがある。
- ・あやしいアプリは使わない(クリックしない)。友達にまで影響してしまうことがある。

○危険から子どもを守るために

①守るべきルールづくりを大切にする。

- <例>◆使用時間、使用する場所を決め、約束する。 ◆親も使うのを控える。 ◆課金はしない。
◆知らない人とはかかわらない。(無視する) ◆わからないメッセージは親に相談する。
<大事なこと> ◆一方的でなく納得させながら。 ◆ルールが守れない時の約束(罰則)までつくる。
◆ルールを定期的に話し合い更新する。 ◆ルールに例外をつくらない。
◆親は感情的にならずにブレーキをかける。

②機器とアプリの設定は最新の状態にする。

SNS、ゲーム、動画、音楽等

③フィルタリングをする。(子どもを守るためのもの)

- ・「安全なサイト○ 危険性のあるサイト△ 有害サイト×」があるが、トラブルになる可能性が大きいのが「危険性のあるサイト△」子どもは判断できない。成長に合わせフィルタリングを設定していく。

④サバイバル型ゲーム、オンラインゲームの危険性から子どもを守る。

- ・無料ゲームの中には、リアルな殺人ゲーム等小学生には刺激が強すぎるサバイバル型ゲーム(「フォートナイト」「荒野行動」等)がある。親は、子どもがどんなゲームを

続きは裏面へ

しているか把握し、制御をする。

- ・ サバイバル型ゲームをはじめオンライン型ゲームは、知らない人ともゲームができ、ゲーム中の大人の暴言をまねたり、悪意のある大人とのトラブルに巻き込まれたりする危険性がある。
- ・ ゲームの武器を手に入れるための課金（支払いできるシステム）をしない。パスワードは親が管理する。

先日、大阪市の小学6年女児がSNSを接点に犯罪に巻き込まれる事件がありました。学校でも、子どもたちの様子や会話から、SNSやオンラインゲーム等で見知らぬ人と接点を広げていくことの危険性、ネットやゲームのし過ぎによる生活の影響を心配しています。

学校医の先生方からは、次のご指導をいただきました。

学校医の先生から…「今の子どもたちは、メディア時間の長さ等、肥満（健康上の問題のもと）を助長する環境に置かれている。全国の肥満度傾向は10%。以前の2～3倍で問題視されている。正しい生活習慣が本当に大切である。」

学校歯科医の先生から…「今の子どもたちがメディアを使えることはうらやましい反面、恐ろしさを感じる。すべて親の責任で制御する。親が我慢できないことを子どもにどうやって我慢させられるのだろうか。歯・口腔内の健康も、5・6年生は永久歯を守っていく大切な時期なので、野放しにしないで目をかけていくことが大切である。」

学校眼科医の先生から…「目の病気、特に近視は子どもの頃に進むので進行することを防ぐことが大切。海外では、国策として近視を防ぐ取り組みをしている。外で遊ばせる取り組み（1000ルクス以上の明るさのもとで、1日2時間以上・週11時間以上）で近視が減ったという調査結果から、すべての学校にこの取り組みを義務付けた国もある。幼少期のアウトメディアの必要性については、子どもたちが一人前の大人になるための条件や環境を決定的に破壊し、奪い取ってしまう危険性があるからだと思う。」

学校薬剤師の先生から…「インフルエンザ等の感染症予防のためには免疫力を高めることも大切。笑顔は免疫力を高めるので、メディアではなく“家族との対話”を大切にしてほしい。」

講話やご指導から、改めて考えなければならないのは、大人や保護者の姿勢のように思いました。インターネットに潜む危険性やメディアづけの危険性をいかに真摯に受け止めるかにかかっていると思います。ぜひ、お子さんとのメディアルールを確認していただくこと、お子さんがどんなゲームをしているかどんなソフトをダウンロードしているか関心をもち話し合ってください。フィルタリングの利用を行うこと（携帯電話会社には義務として課せられています）をお願いいたします。

学校でも、冬休み前に、外部講師によるネット安全教室（5・6年生）を行う予定です。

子どもたちの活躍

<さん・くん略> ○は学年

◆西置賜地区防犯ポスター

最優秀 ⑤

佳作 ⑤

◆西置賜地区防火ポスター

優秀 ⑥

入選 ④

④

⑤

佳作 ④ ④

⑥ ⑥

◆長井市”いじめ・非行をなくそう”

やまがた県民運動

優秀標語 ⑤

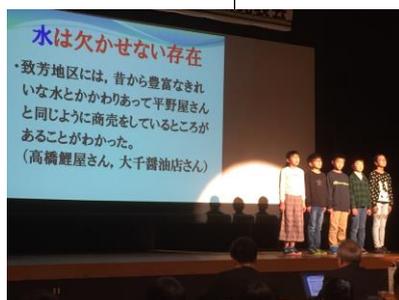
◆長井市”社会を明るくする運動”

標語の部優秀 ① ④

◆長井支部けん玉ペインティングコンテスト

入選 ② ③

④ ⑤



「長井の心」を育む少年活動発表会

11月16日（土）生涯学習プラザにおいて「第41回『長井の心』を育む少年活動発表会」が開催されました。本校からは4年生5名が参加し、『長井の水・致芳の水』をテーマに調べたことをしっかりと発表してきました。



<4年生代表5名>

致芳地区子ども会育成会からも、嬉しいお知らせがありました。

◆長井市子ども会交流ドッジボール大会

優勝 オール致芳Cチーム

最優秀選手賞 ⑥

致芳地区子ども会育成会から3チーム：49名が
出場してすばらしい成績をおさめてきました。